

ネットトラブル防止講座から

9月8日(水)にKDDIの方をお招きして、ネットトラブル防止講座を行いました。今回も昨年度同様に、TV放送での講演となりました。実際にあったトラブルを紹介してもらいながら、ネットを使う際の注意点やトラブル未然防止の考え方を分かりやすく教えていただきました。今回の講演では、以下の3つの内容について扱いました。

- ①友人とのSNSを介したトラブル
- ②動画投稿が発端となったトラブル
- ③見知らぬ人とのSNSを介したトラブル

①では、「文字(書く)」と「言葉(話す)」の違いについて 言葉は気持ちが伝わりやすいが、文字は勘違いが起きやすく思いが伝わりにくく、この少しの認識のズレがきっかけで、SNSを原因とした「いじめ」や「人間関係の悪化」につながる。

メッセージを投稿する前に相手にどのように伝わるのか考えること、できることなら実際に会って話をする事。メッセージを受け取った側も言葉だけに流されるのではなく、自分の考えを持つこと。発信する側も受け取る側も、双方向で思いやりを忘れないことが必要です。

②では、軽い気持ちで投稿した動画が原因で、罪に問われ一生取り返しのつかないことになる内容でした。また、この事例では主人公が自分の投稿した動画が「まずい」と思い削除しましたが、瞬く間にネット上に拡散され、個人情報特定されていくシーンもありました。一度ネット上に掲載したものを消すというのとは不可能であり、匿名だから大丈夫ということもありません。数年後の進学や就職の際に大きな影響が出ることもあります。

だからこそ、軽い気持ちでネットを利用するのではなく、自分の行動をよく考える必要があります。

③では、見知らぬ人にSNSを介して相談にのってもらったことがきっかけで、最終的に友人がネット上で誹謗中傷を書かれ学校に来れなくなってしまったり、自身の画像を送ったことが原因で脅されたりという怖い内容でした。(相手はずっと中学生だと信じ込んでいたが、実は大人だった。)

ネット上に掲載した画像や動画は、一生消すことができず、「デジタルタトゥー」と呼ばれています。

このようなトラブルに巻き込まれない大前提は、知らない人とはやり取りをしない、安易に個人情報を投稿しないということです。

本校でも、実際にネットによるトラブルがあり、それが原因で人間関係が悪化したり、個人情報が特定されることもあります。中学生にありがちな「これぐらい投稿しても大丈夫だろう」という勢いとノリで取り返しのつかないトラブルに巻き込まれることもあります。

今回の講演を通して、「便利」なネットの裏側にある「怖さ」を改めて感じた生徒も多くいたのではないかと思います。講演を聴いた生徒の感想を紹介します。

< 1年生 >

- ・ちょっとでもいいかなと思って軽はずみな行動で全てが壊れていくのだなと思いました。自分がしたちょっとしたことでも、自分の人生にかかわっていくと分かりました。自分がこんなことしていいのかしっかり考えることが大切だと分かりました。
- ・今回の講座を聞いて、とてもリアルにインターネットの怖いところが伝わってきました。特に、姿を知らない人とのネット上での会話は、見えないところがたくさんあって、本当の姿を知らずに自分のことばかり教えてしまうことがあると知り、私はそんな機会が起こらないように気をつけたいと思いました。

< 2年生 >

- ・ネットについて今日は学びました。どの動画も印象に残り、SNSはとてもこわいと感じました。そしてSNSというのは1度あげると1生消えないことが動画を見て知りました。SNSは楽しいかもしれないけれど、とても危険だと思うので考えて使っていきたいです。
- ・今回のようなネットトラブルの事例を見て、SNSは楽しいものだけれど、投稿したものが悪用されたり、軽はずみでやった行為がすごく大きなトラブルになったりするので、怖いものであると改めて思いました。今回学んだことを家でも家族と話したり、ネットを使う時のルールとかをしっかりと決めて楽しく利用したいです。

< 3年生 >

- ・私は、ネットの情報を簡単に信用せずに、一度自分でよく考えてから情報を利用しようと思いました。使い方を間違えると、大きな犯罪や問題につながり、一生傷が残るのだということを忘れないようにしたい。しっかりルールを決めて、ネットを活用するようにしたい。
- ・今日の3つのアニメを瀬町さんの話を通して、ネットの危険性をしっかりと知ることができた。そして、知らず知らずのうちに、ネットトラブルの被害者、加害者になることがあることを知った。自分が人を傷つけないように、そして事件に巻き込まれないように正しい知識で利用していきたい。また、相手がどんな人なのかしっかり考えて、疑うようにしていきたい。たくさんのことを学べて本当に良かった。

1学期に実施した『携帯電話・インターネットアンケート』において、「あなたは、この1年間でインターネット上で、つぎのようなことをされたことがありますか？」では、「悪口を書かれた」「自分の個人情報や写真などを許可なく流された」が数人いました。また、「あなたは、この1年間でインターネット上で、つぎのようなことをしたことがありますか？」では、「悪口を書いた」「他人の個人情報や写真などを許可なく流した」も数人いました。さらに、「インターネットで知り合った人と電話やメールをした」、「実際に会ったり会いそうになったことがある」生徒の数が、昨年度と比較すると増加していることが分かりました。本校生徒が命の危険性にさらされないか、とても心配しています。

今回の講演をきっかけに、インターネットを利用する際の危険性やルールについて、親子でぜひ話し合っていただければと思います。

もしトラブルにあった時は、メールの保存やスクリーンショットで証拠を残したり、すぐに保護者の方や学校の先生など身近な大人に相談することが大切です。